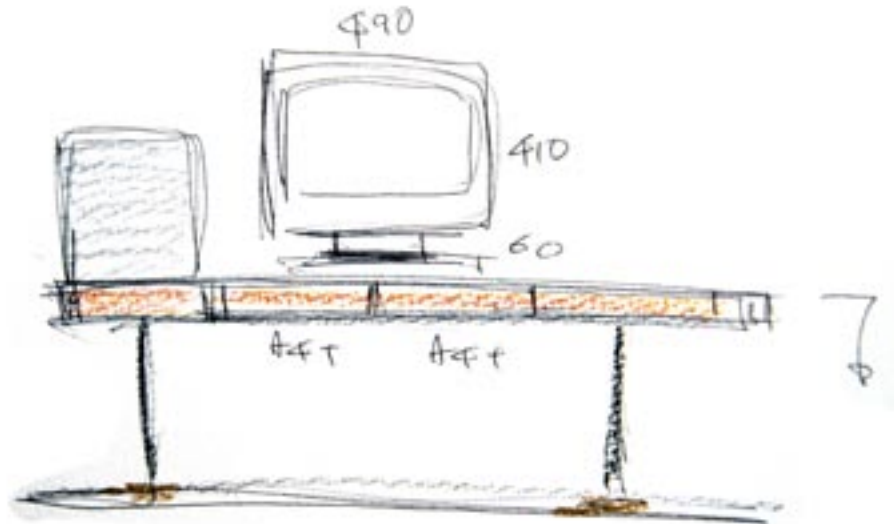


DESIGNED FOR OUR DAILY LIFE



Mac のデスク
2008年岡谷S邸





白川様

さて15、6年前、直径120CMもあるホワイトオークに出会いました
 そのころ東京木場の扱う材木は、新建材へと変化していて、すでにこ
 のような丸太を製材する機械がなくなっていたので、おおきなトラッ
 クで名古屋へ運び、数日かかりで製材運搬をして、フーフーいいなが
 ら三城の山へ持ち上げたのを懐かしく思い出します

一般に檜の木は北海道産ですが、どういう経緯か、カナダの山奥から
 運ばれてきた、鯨のように巨大なオールドオークの年輪は、若木には
 ない年月が風格となって刻まれていて、それ以後僕の作品の素材とし
 てさまざまな家具に生まれ変わりました

いい柾目が一枚残っていたので、今回の制作に使わせていただくこと
 になりましたが、削り心地よく、この木以外にはあり得ない、虎斑と
 呼ばれる美しい個性が僕を魅了しています







今回のスケッチは、楽しいデザインとともに京都の思い出になっていますが、開閉のためのしんばり棒と、中央A4書類収納分の蓋開閉ラッチが懸案でした

真鍮の板を叩きだしてバネ構造として解決しましたが、閉まる瞬間にすこし抵抗があつて、軽く納まる感じがいいようです

きつとお気に召してくださるのでは、とお届けが楽しみです

戸や扉のキャッチ部分は、大仰な工業製品か、マグネットになってしまいましたが、手作りの楽しみはこのへんにもあるのかと思います

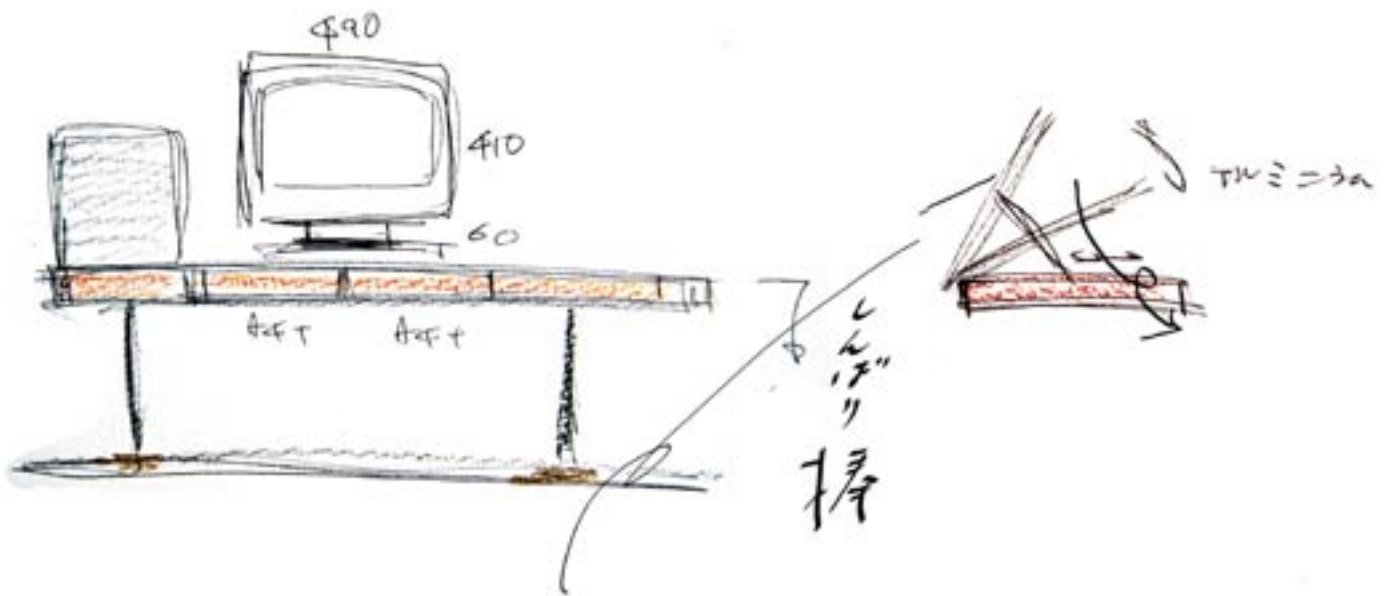
また上げ蓋式収納部には、革を敷いてみましたが、新しい感覚の叩きだしアルミと、クラシックな感覚MIXが面白いのではないかと自負しています



Mac a Desk

木村 隆之

2008.5



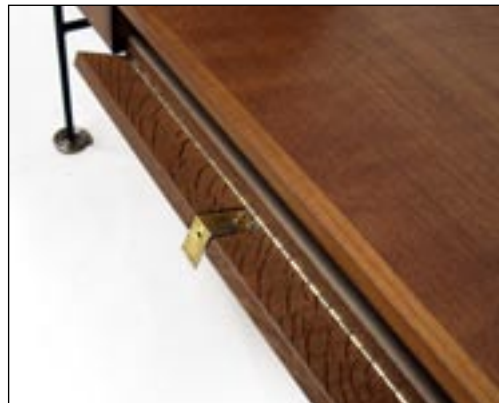
A4書類収納部
（可開金属物）
+ BS60001250

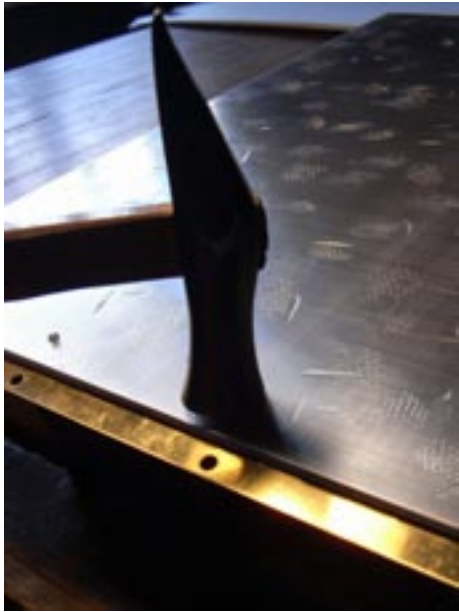




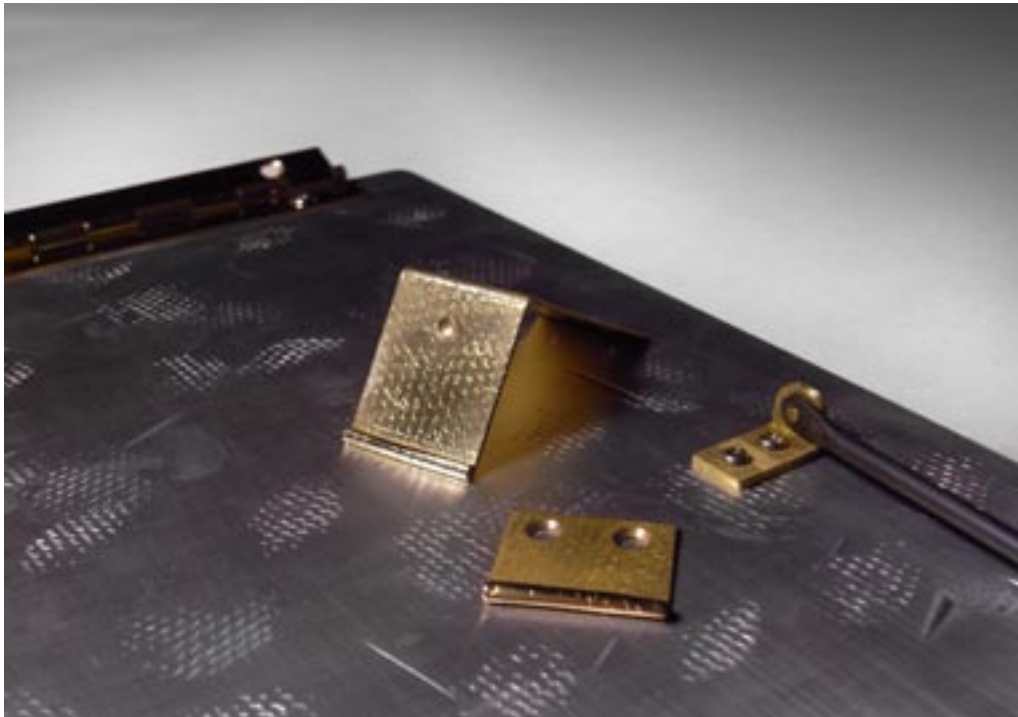
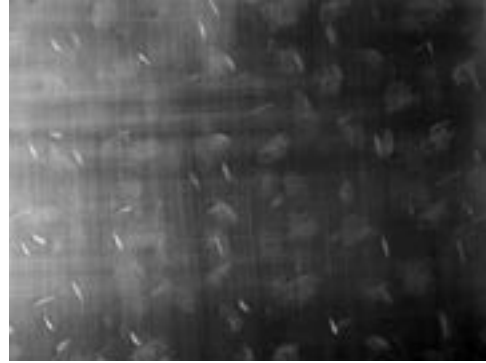
■ 中央の書類収納部分について

書類などの仮置きなどをなさるおつもりがあるのかと拝察致します
僕達は通常A4の大きさですが、お使いになる最大サイズをお教え下さい
また正面の引き出しは使いづらく、デッドスペースが大きいので下方向に回転する扉にすると
使いやすいかと思えます





macのデスク
金物の製作





美ヶ原は素晴らしい新緑となりましたが、ようやく完成に漕ぎつき、今日は撮影をすることが出来ました
約6cmを確保することができた3mmの鍛造アルミは、使い込んだ革との対比が新鮮な感覚で、6cmの収納高さ確保に役立っています
オイルが染みこんで斑がキラキラと輝き、さすが老木の貫禄です
お届けできる状態となりましたので、日程をご相談させていただきます



DESIGNED FOR OUR DAILY LIFE



この度は、楽しいご注文をいただき、まことにありがとうございました

簡素な和室にしつらえると、これは現代の文机ともいえそうですね
丈夫で飽きなく使われることと自負しておりますが、ストレスの多いパソコン仕事が楽しく、過ごす毎日が美しく彩られることを祈っています

THANK

